

平成 25 年 7 月 4 日

会員の皆様へ

東京コンクリート診断士会 第 15 回技術セミナーのご案内

主催 東京コンクリート診断士会

共催 日本コンクリート診断士会

会員の皆様には益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

このたび以下のプログラムで、第 15 回技術セミナーを開催いたします。

今回は東京駅復原工事について特別講演を計画しておりますので、TCD 会員および地区診断士会の皆様、万障繰り合わせの上ご参加の程、お願い申し上げます。

なお、本セミナーは、土木学会 CPD プログラムの認定予定です。

1. 日時:平成 25 年 8 月 7 日(水) 13:30~17:10
2. 場所:日本コンクリート工学会 会議室 千代田区麴町 1-7 相互半蔵門ビル
東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅 1 番出口より 100m

3. セミナープログラム

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| (1) 開会挨拶 | 13:30~13:40 |
| (2) 鋼構造物の損傷事例と点検・診断、補修・補強(仮題) | 13:40~14:50 |
| 講演者:株式会社東京鐵骨橋梁 技術本部長 入部 孝夫様 | |
| (3) 演題:法人会員の保有技術 | |
| 非破壊調査技術の紹介 | 14:50~15:20 |
| 講演者 :株式会社ジャスト 技術部 部長 柳瀬 高仁様 | |
| 休憩 | 15:20~15:30 |

《特別講演》

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (4)演題:東京駅丸の内駅舎保存・復原工事 | 15:30~17:00 |
|-----------------------|-------------|

講演者:東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター所長 野澤伸一郎様

講演趣旨:東京駅丸の内駅舎は、1914年に竣工した他に例を見ない大規模鉄骨煉瓦造で、関東大震災でも大きな被害を受けなかったが、1945年の戦災で外壁、屋根および内装が損壊した。戦後3階建てを2階建てにし、屋根形状を変更するなどの応急的な復旧工事が行われ、そのまま近年まで約60年間現役の建物として使用された。2003年には国の重要文化財に指定された。今回、既存躯体を極力活用しつつ、安全性・機能性の向上を図り、免震工法を採用して、創建当時の姿に東京駅丸の内駅舎を復原した。首都東京の顔として、将来にわたって魅力的な構造物となった丸の内駅舎を核に、首都東京の顔にふさわしい風格のある都市形成が進められている。

本特別講演は駅機能を維持しつつ、復原・補強・改修工事の経緯から計画・施工記録についてご説明いただく。

- | | |
|---------------|-------------|
| (6) 閉会挨拶とお知らせ | 17:00~17:10 |
|---------------|-------------|

4. 参加費

会 員：2,000 円 TCD 会員および JCD 会員（各地区診断士会含む）

非会員：4,000 円

なお、参加費は当日会場で徴収いたします。

総会終了後、ダイヤモンドホテルにて会費 3,000 円で交流会を予定しております。（参加自由）

5. 申込み方法および締め切り

申込みは、メールまたはファックスで当会事務局まで、お申込みください。

（交流会のご出欠予定も記してください）

Email: tcd@candr.jp Fax: 042-320-5506

申込期日：7月31日(水)

6. お問い合わせ TEL: 042-328-0337

緊急連絡先 毎田: 090-2178-3111

（急遽参加できなくなった場合等にご連絡ください）

（以上）

東京コンクリート診断士会 第15回技術セミナー参加申込書

平成 25 年 8 月 7 日 (水曜日)

Email : tcd@candr.jp

Fax : 042-320-5506

返送日： 月 日

氏 名		所属地区の会 () 正会員 賛助会員 法人会員 非会員
出 欠	技術セミナー	出 席 欠 席
	交流会	出 席 欠 席
勤務先および所属	勤務先および所属： 連絡先 (Email) : 電話 :	